

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

第3回

キャビネット会議資料



地区ガバナースピーチ

新たな時代への挑戦

～絆を深め、未来を創る～

2025年2月15日（土）

会場：ホテル テラスザガーデン水戸

目次

国際会長テーマ	2
ご挨拶.....	4
出席者一覧.....	5
第3回キャビネット会議プログラム.....	7
2024-2025年度 333-E 地区会議運営議事規則要点.....	9
地区ガバナー提出議案.....	10
地区ガバナー報告.....	27
地区委員長現況報告	53
2024-2025年度 333-E 地区年間行事.....	64
2024-2025年度 クラブ周年行事予定表	65

国際会長テーマ



足跡をしるす

私たちは、奉仕するたびに、
持っているものを与えるたびに、
優しさと思いやり、
変化と希望をもたらしています。

そして私たちはふれあう人の心に、
奉仕する地域社会に、共に分かち合う世界
に、足跡をしるしています。



ファブリシオ・オリベイラ

2024-2025年度
ライオンズクラブ国際会長

MISSION 1.5

ミッション1.5(ワン・ポイント・ファイブ)

2027年7月1日までに、ライオンズクラブ国際協会は全世界合計会員数150万人(ワン・ポイント・ファイブ・ミリオン)を達成する。

- ▶ すべての会則地域で2026–2027年度までに会員純増を達成する。
- ▶ すべての地区で、新クラブを結成する。
- ▶ Mission1.5期間中に、すべてのクラブが新会員を迎える。
- ▶ すべての地区は、女性や若手会員を含め、より多様な会員を迎え入れるための戦略を策定する。

ライオンズクラブ国際協会は、世界最大の会員を母体とする奉仕組織として、200の国と地域、4万9千のクラブによる活動を通して、人道的ニーズに応えてきました。

1917年以来、自ら汗をかく奉仕活動で、ライオンズは人々の健康と環境を改善し、コミュニティを強化し、弱者を支援してきました。

会員数を増やすことは、クラブが奉仕活動を行う力を維持することにつながります。より力強い会員によるボランティアネットワークを築き、グローバルな奉仕目標への意識を高め、世界にポジティブな変化をもたらすのが私たちの使命です。

奉仕活動を行うキャパシティ（能力）を高めるために

- 多様性と組織の包容力を高める（ダイバーシティとインクルージョン）
- 活動範囲と影響力を広げる
- 会員であることのメリットを高める つまり、会員制組織として、会員数が多ければ、それだけ幅広いネットワーキングの機会を会員に提供
- 資金力の増大 会員が増えれば、組織としての資金力は高まる

ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
地区ガバナー 椎名 健二

厳寒の候、メンバーの皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る 1 月 25 日(土)・26 日(日)に開催されました「ライオンズ EXPO」には、多くのメンバーの皆さまにご参加いただき、心より感謝申し上げます。

今期キャビネットが最も力を入れる事業であり、3 年ぶりに開催された「ライオンズ EXPO」では、初日の 25 日(土)に **GLT 委員会主催**による『**GLT 新人セミナー「ライオンズは楽しいぞ！」**』が実施されました。渡辺地区名誉顧問が講師を務め、ライオンズクラブの基本を楽しく、わかりやすく学べるセミナーとなりました。

また、翌 26 日(日)には、以下のセミナーが開催されました。

第 1 講：「糖尿病予防セミナー」(献血・献眼推進・アヘルス・糖尿病予防委員会)

真壁 LC の L 阿部田が講師を務め、糖尿病予備軍が多いと言われるライオンズクラブメンバーに向けて、糖尿病の知識を深める機会となりました。健康の大切さを改めて実感する貴重な時間となりました。

第 2 講：「ライオンズクエストセミナー」(ライオンズゲスト・薬物乱用防止委員会)

つくば中央 LC バックキャスティング支部の L 稲葉が講師を務め、ライオンズクエストが子どもたちにとって大切な学びの場であることを再認識する機会となりました。

第 3 講：「ミッション 1.5 セミナー」(GMT 会員増強・EXT・会員維持委員会)

第 2 副地区ガバナー L 鈴木が講師を務め、ライオンズクラブ国際協会が現在最も力を入れている「ミッション 1.5」について講演いただきました。会員増強に必要な施策や具体的な取り組みについて、わかりやすく説明いただき、大変有意義な時間となりました。

また、セミナーだけでなく、各委員会による展示ブースも充実しており、大変見応えのある内容となりました。今回の「ライオンズ EXPO」を契機に、**333-E 地区**としてさらなる飛躍を遂げていきたいと考えております。

現在、333-E 地区の会員数は、今期 7 月 1 日スタート時点からみて**現在はマイナス**となっております。また、LCIF への寄付状況についても、**今期目標の 50 万ドル**に対し、1 月 20 日現在で**達成率 44%**と、厳しい状況が続いております。今期 6 月 30 日までの残りの期間、**333-E 地区が少しでも前進できるように、私を含めキャビネット内局員一丸となって邁進してまいります。**

引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

We Serve

出席者一覧

役職	氏名
地区ガバナー	椎名 健二
元国際理事・元地区ガバナー・地区名誉顧問	川島 正行
前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長	齊藤 正行
第1副地区ガバナー	若林 純也
第2副地区ガバナー	鈴木 光成

役職	氏名
元333複合地区ガバナー協議会議長・元地区ガバナー・地区名誉顧問	鈴木 正二
元地区ガバナー・地区名誉顧問	幡谷 浩史
元333複合地区ガバナー協議会議長・元地区ガバナー・地区名誉顧問	萩原 光義
元地区ガバナー・地区名誉顧問	小吹 勇
元地区ガバナー・地区名誉顧問	大竹 伸一
元地区ガバナー・地区名誉顧問	下川 利澄
元333複合地区ガバナー協議会議長・元地区ガバナー・地区名誉顧問	中嶋 正昭
元地区ガバナー・地区名誉顧問	根本 昌卓
元地区ガバナー・地区名誉顧問	大高 宣靖
元333複合地区ガバナー協議会議長・元地区ガバナー・地区名誉顧問	山川 洋
元地区ガバナー・地区名誉顧問	岡野 良男
元地区ガバナー・地区名誉顧問	渡辺 博

役職	氏名
1R1Zゾーン・チェアパーソン	鈴木 孝昌
1R2Zゾーン・チェアパーソン	内藤 直人
1R3Zゾーン・チェアパーソン	遠藤 実
2R1Zゾーン・チェアパーソン	齋藤 修
2R2Zゾーン・チェアパーソン	加藤 祐二
3R1Zゾーン・チェアパーソン	横瀬 敬司
4R1Zゾーン・チェアパーソン	妹川 真澄
4R2Zゾーン・チェアパーソン	森重 英明
5R1Zゾーン・チェアパーソン	久保田 信也
5R2Zゾーン・チェアパーソン	佐藤 敬治
6R1Zゾーン・チェアパーソン	潮田 新正
6R2Zゾーン・チェアパーソン	石井 哲雄
7R1Zゾーン・チェアパーソン	二宮 司
7R2Zゾーン・チェアパーソン	片見 幸男

役職	氏名
キャビネット幹事	大貫 研二
キャビネット会計	岡田 浩一
GLTコーディネーター	結城 健一
GMTコーディネーター 兼 委員長	奈良 和彦
SCP・FWTコーディネーター	大関 恵
GSTコーディネーター	吉澤 敦
ガバナー特命広報・交流推進室長	桜井 政利
キャビネット事務局長	瀬々 徹
GLTリーダーシップ育成委員長	大本 雄一
SCP・FWT委員長	太田 敬
LCIF・国際大会委員長	山本 主税
環境保全・マーケティング・PR・IT・アラート委員長	寺田 英俊
献血・献眼推進・アイヘルス・糖尿病予防委員長	小島 修一
ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長	石井 徹
YCE・レオ・青少年育成委員長	武田 清宏
年次大会委員長	相澤 晴夫
(公財)日本ライオンズ委員会委員長	植田 佳男
キャビネット監査委員	大和田 正俊
キャビネット監査委員	久米 雅文
GLTリーダーシップ育成副委員長	廣瀬 一重
SCP・FWT副委員長	田山 依里
SCP・FWT副委員長	刑部 ともこ
LCIF・国際大会副委員長	吉沼 薫
環境保全・マーケティング・PR・IT・アラート副委員長	和田 篤
献血・献眼推進・アイヘルス・糖尿病予防副委員長	磯崎 孝雄
ライオンズクエスト・薬物乱用防止副委員長	黒澤 清訓
YCE・レオ・青少年育成副委員長	今井 章人
YCE・レオ・青少年育成副委員長	大久保 剛
キャビネット筆頭副幹事	長野 元樹
キャビネット副幹事	永井 雄一
キャビネット副幹事	関川 恵一
キャビネット副幹事	石井 慎太郎
キャビネット副幹事	大窪 聡史
キャビネット副幹事	栗林 盛紀
キャビネット副幹事	大関 健一
キャビネット副幹事	大野 啓史
キャビネット副幹事	初沢 正人
キャビネット副幹事	中村 和義

オブザーバー

役職	氏名
333複合地区LCIF副コーディネーター	倉留 ラジェシュ
333複合地区FWTコーディネーター	古渡 孝枝

委員会名	氏名
GLTリーダーシップ 育成委員会	黒澤 浩昌
	鈴木 信男
	河原井 信之
	狩野 良和
	齋藤 正行
	高野 修一
	齊藤 靖彦
GMT会員増強・EXT・ 会員維持委員会	和田 義秀
	今村 和章
	小泉 聡志
	遮那 知礼
	大越 勇一
	渡辺 一浩
SCP・FWT委員会	石山 義直
	西海 勇二
	佐藤 順子
	玉木 正雄
	栗山 秀樹
	岡田 信
	関口 光
LCIF・国際大会委員会	木村 一巳
	砂押 一成
	福村 義和
	和家 貴之
	染谷 浩
	飯島 和真
	飯泉 徹
岩淵 茂	

委員会名	氏名
環境保全・マーケティング・ PR・IT・アラート委員会	菊池 裕司
	藤枝 進一
	池田 雅史
	藤野 将寛
	飯山 真一郎
	阿部田 聡
	田村 正己
献血・献眼推進・アイヘルス・ 糖尿病予防委員会	鈴木 稔
	石崎 昌夫
	高城 裕
	坂野 公一
	大谷 ひとみ
	今井 豊
ライオンズクエスト・ 薬物乱用防止委員会	北島 勉
	矢澤 和之
	喜田 和弘
	大森 雄治
	川上 靖弘
	桜井 賢
	大和田 英雄
YCE・レオ・ 青少年育成委員会	木村 公一
	磯崎 啓子
	佐久間 浩之
	郡司 敏
	森下 勝美
	大里 一
	須藤 英夫
吉沼 利男	

第3回キャビネット会議プログラム

2025年2月15日(土) 15:00～

会場 ホテル テラスガールズ水戸

司会 キャビネット事務局長 瀬々 徹

1. 開会宣言・開会ゴング 地区ガバナー 椎名 健二
2. 国旗に敬礼・国家斉唱 全 員
3. 物故ライオン、献眼者に黙祷
4. ライオンズヒム斉唱
5. 役員紹介 キャビネット副幹事 長野 元樹
6. ご挨拶 地区ガバナー 椎名 健二
元国際理事・元地区ガバナー・地区名誉顧問 川島 正行
前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長 齊藤 正行
公益財団法人日本ライオンズ副理事長 山 川 洋
第1副地区ガバナー 若林 純也
第2副地区ガバナー 鈴木 光成
GLT コーディネーター 結城 健一
GMT コーディネーター 奈良 和彦
SCP・FWT コーディネーター 大 関 恵
GST コーディネーター 吉 澤 敦
7. 議事規則の採用及び議長選出・定足数確認 キャビネット幹事 大貫 研二
8. 議長就任 地区ガバナー 椎名 健二
 - (1) 議事録作成人指名
 - (2) 地区ガバナー提出議案について
 - 1号議案 ライオンズクラブ国際協会国際第3副会長候補者推薦について
 - 2号議案 333-E 地区リジョン・ゾーン編成検討委員会について
 - 3号議案 333-E 地区災害対応マニュアルについて
 - 4号議案 2025-2026 年度会員種別の諸会費について
9. 地区ガバナー報告
 - (1) 2024-2025 年度中間決算報告
 - (2) 茨城県教育庁が推進している職場体験への協力について
 - (3) 次期キャビネット構成員・ZC・地区委員・クラブ三役研修会について
 - (4) 2025-2026 年度 333-E 地区「委員会名称」について

(5) キャンペーン 100 の再導入について

10. 委員長報告

- | | | | |
|-------------------------------|--------------------|----|----|
| (1) GLT リーダーシップ育成委員会 | 委員長 | 大本 | 雄一 |
| (2) GMT 会員増強・EXT・会員維持委員会 | GMT コーディネーター 兼 委員長 | 奈良 | 和彦 |
| (3) SCP・FWT 委員会 | 委員長 | 太田 | 敬 |
| (4) LCIF・国際大会委員会 | 委員長 | 山本 | 主税 |
| (5) 環境保全・マーケティング・PR・IT・アート委員会 | 委員長 | 寺田 | 英俊 |
| (6) 献血・献眼推進・アイヘルズ・糖尿病予防委員会 | 委員長 | 小島 | 修一 |
| (7) ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会 | 委員長 | 石井 | 徹 |
| (8) YCE・レオ・青少年育成委員会 | 委員長 | 武田 | 清宏 |
| (9) 地区年次大会 | 委員長 | 相澤 | 晴夫 |
| (10) ガバナー特命 広報・交流推進室 | 室長 | 桜井 | 政利 |

11. 決議の確認

地区ガバナー 椎名 健二

12. 幹事報告

キャビネット幹事 大貫 研二

13. 閉会宣言・閉会ゴング

地区ガバナー 椎名 健二

2024-2025 年度 333-E 地区会議運営議事規則要点

● 4つの原則

1. 一時一件の原則

1 度に 1 つの議題だけを討論し、決議する。複数の議案を審議しない。

2. 一事不再議の原則

以前議決した案件を再度審議できない。3 分の 2 以上の賛同が必要。

3. 多数決の原則

決議は、定足数の 1/2 以上の賛成。賛成 反対を明確にする。

4. 定足数の原則

会議開始時に定足数に対して、会議が成立していることを確認する。

● 発言

1. 発言はすべて議長の許可を得て発言する。

2. キャビネット会議における発言の権利は投票権者のみ有効とする。

3. 発言者は「意見か」「質問か」「動議か」を冒頭に言う。

4. 発言は議長の許可を得て 1 議題につき、1 回 2 分以内、通算 2 回までとする。

● 動議

1. 動議が上がった場合、セカンドを確認する。

2. セカンドいる場合、この動議を審議するか否かを投票権者に決議をとる。

3. 決議は、定足数の 1/2 以上の賛成で動議を提議し、1/2 以上の反対で動議を却下する。

● 代理投票・委任状の禁止

1. 国際協会会則第 6 条 5 項により代理投票・委任状は禁止とする。

地区ガバナー提出議案

1号議案 ライオンズクラブ国際協会国際第3副会長候補者推薦について

国際第3副会長候補者推薦について、立候補書式一式並びに推薦委員会議事録（資料 p11～p16）の通りとし、川島正行元国際理事を333-E地区第71回年次大会の代議員総会において選挙または信任投票を実施し決定する事としたい

2号議案 333-E地区リジョン・ゾーン編成検討委員会（案）について

333-E地区リジョン・ゾーン編成検討委員会を別紙「ライオンズクラブ国際協会333-E地区リジョン・ゾーン編成検討委員会設置（案）」（資料 p17）の通りとしたい

3号議案 333-E地区災害対応マニュアル（案）について

333-E地区災害対応マニュアルを別紙『333-E地区災害対応マニュアル（案）』（資料 p18～p25）の通りとしたい

4号議案 2025-2026年度会員種別の諸会費（案）について

別紙「2025-2026年度333-E地区正会員・支部会員・特典会員（家族会員）・学生会員の諸会費（案）」（資料 p26）の通りとしたい

※支部会費値上げの経緯について

クラブ支部プログラム導入当初は正会員に対し格安の諸会費設定をさせていただいておりましたが、会員権利は正会員同様であることや会費請求に関する事務手数等を鑑み、正会員同様とさせていただきたくご理解のほどよろしくお願いたします。

[添付資料]

(添付資料1) リジョン・ゾーン編成検討にあたっての意見書 (p62～p63)

(1号議案) ライオンズクラブ国際協会国際第3副会長候補者推薦について

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

地区ガバナー 椎名 健二 様

推 薦 状

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

4R1Z 土浦北ライオンズクラブ会員 L 川島正行

上記 L 川島正行をライオンズクラブ国際協会 国際第3副会長に推薦いたします。

L 川島正行、グットスタンディングの正会員であり、当クラブの理事会及び例会にて立候補を承認いたしました。

同人は 2019-2023 年度国際理事として活動、

現在は GAT アドバイザー・LCIF アドバイザーであり、またメルビンジョーンズ・フェローも 429 回を数えヒューマニタン・パートナーである人格見識共すぐれた人物であります。

2025年1月29日

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

4R1Z 土浦北ライオンズクラブ

会長 入 江 謙 吾

元国際理事(2019-2022年度)プロフィール



氏 名 **L 川島 正行** (かわしま まさゆき)

所 属 333-E地区 4R 1Z 土浦北ライオンズクラブ

生年月日 1960年12月 1日 (64歳)

現 住 所 茨城県かすみがうら市

現 職 株式会社 いっしん 代表取締役

株式会社 かわしまコーポレーション 代表取締役

株式会社 ケアスター 代表取締役

株式会社 双心 会長

現 役 職 社会福祉法人 一行会 理事長

ライオンズクラブ国際協会 元国際理事(2019-2022)

GATアドバイザー・LCIFアンバサダー

【ライオン歴】

1990年	土浦北ライオンズクラブ入会	2010年～11年	4R 1Z ゾーン・チェアパーソン
1993年～94年	クラブ会計	2012年～15年	地区GMTコーディネーター
2002年～03年	第25代会長	2015年～16年	333-E地区 第2副地区ガバナー
2006年～07年	4R地区委員 (LCIF・薬物乱用防止・青少年健全育成・地区四献)	2016年～17年	333-E地区 第1副地区ガバナー
2007年～08年	地区委員長 (薬物乱用防止・社会福祉・環境保全・地区四献)	2016年 7月	セカンド センチュリー アンバサダーとなる
		2017年～18年	333-E地区 地区ガバナー
		2019年～22年	国際理事

【ライオンズ関連研修】

ALLI 上級ライオンズリーダーシップ研究会(Bangkok)修了
FDI ライオンズ講師育成研究会(Nagoya)修了
LCIP ライオンズ公認講師プログラム(Seoul)修了

【ライオンズ関連受賞歴】

LCIF リードギフト \$ 200,000 誓約・実施済
LCIF メジャーギフト誓約・実施済
メルビン・ジョーンズ・フェロー 429回
ヒューマニタリアン・パートナー
メンバーシップ アドバンスメントキー賞
親善大使賞(2022年)
国際会長メダル 5回
国際会長賞 2回
国際会長感謝状 6回
地区ガバナーアワード 8回
複合地区議長アワード 1回
LCIF国際財団理事長メダル 1回
LCIF国際財団理事長アワード 5回

【国際協会講師歴】

2022-2023 上級ライオンズリーダーシップ研究会(ALLI)講師
(バンコク)

【大会参加歴】

OSEALフォーラム 16回
(台湾・福岡・シンガポール・仁川・バンコク・濟州島・マニラ・パタヤ等)
国際大会 15回
(香港・大阪・釜山・ハンブルグ・ホルル・モントリオール・メルボルン等)

【その他】

2019年にはライオンズクラブの活動としてケニアの小学校増築が完成し、2020年からは直接の水源をもっていないその小学校地域住民のために井戸水設備の敷設工事を進め、2022年に完成に至る。

事業においては福祉を主としており、スタッフ約1,000名が入所者約2,000名に係わっている。

- ①株式会社 いっしん：茨城県内を中心に埼玉県・沖縄県にて高齢者介護施設等93事業所、また児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援施設も運営している。
- ②社会福祉法人 一行会：茨城県内に障がい者入所支援施設4か所、および養護老人ホームを運営。

所 信 表 明

2019年国際理事就任の際には会員皆様にご大変お世話になりました。改めてここに感謝申し上げます。コロナ禍を挟み2021年までの任期も2022年まで延長され3年間、日本だけではなく日本以外の国々の想いや考え方の違い等貴重な経験をさせて頂きました。

いまライオンズクラブ国際協会はMission 1.5を発信し奉仕の手を150万人そして年間10億人へ奉仕を行う事を目標に据え私たちの日本も大きな期待をされています。

世界を変えるには先ず所属クラブ・ゾーン・リジョン・準地区・複合地区そして日本の地域を変える事から始まります。

かつて日本も会員数16万人を数えた事もありましたが、先進諸国の国々では会員数減少となってしまいました。先ずは日本を中心に第5会則地域が大きくなるとまっていかなければなりません。

また日本ではここ何年もの間、自然災害が多く発生しLCIFを通じ支援を受けてきましたが、本当の奉仕の部分では救われた人が救う人になって行きます。

これから私たち日本がしっかりと奉仕の在りようを示して行かなければなりません。

いまLCIF本部は2030年世界の自然災害は現在の+40%増と発信しています。ますますLCIFの資金も必要になってきますが、200を超える国と地域の中世界最大の出資国日本からの発言も重要視されます。

私たち日本は山田元国際会長(2015-16年)から10年を数えますが、いまここにLions spirit・Nippon spiritを掲げて行くことを強く心に描き国際第3副会長へ立候補を表明致します。

何卒会員皆様のお力をお借りしNippon spiritを世界へ発信できますよう、ご協力ご支援を心から熱く厚くお願い申し上げます。

We Serve

川島正行

国際第3副会長候補者の333-E地区推薦までの手続き

日付	手続きの内容	備考
2024/12/13	候補者による立候補の意思表示	
2024/12/25	国際第3副会長候補者推薦委員会の設置	
2025/1/8	土浦北ライオンズクラブ理事会において、全会一致にて L川島正行の国際第3副会長候補者への立候補を承認	
2025/1/10	土浦北ライオンズクラブ例会において、全会一致にて L川島正行の国際第3副会長候補者への立候補を承認	
2025/1/19	国際第3副会長候補者推薦委員会の開催	
未定	候補者から、地区ガバナーへ推薦を求める旨の文書を提出	文書Aとする
2025/2/2	第3回キャビネット運営会議に上程	
2025/2/15	第3回キャビネット会議にて審議	
未定	地区年次大会候補者指名委員会へ文書Aを送り 候補者としての要件を確認する	
2025/4/19	地区年次大会代議員総会にて、準地区として候補者の 推薦を可決	
未定	333-E地区より、333複合地区へ文書A及び推薦証明書を提出	複合地区年次大会の30日前まで
以後、333複合地区において、推薦手続きが行われる		

上記は、ライオンズクラブ国際協会会則及び付則、並びに標準版地区会則及び付則に則り作成

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

国際第3副会長候補者推薦委員会 議事録

開催日時 2025年1月19日 10:00～10:30

開催場所 WEB会議 (ZOOM)

出席者

<委員長>

元地区ガバナー・地区名誉顧問 渡辺 博

<推薦委員>

前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長 齊藤正行

元地区ガバナー・地区名誉顧問

鈴木正二 (欠席) 幡谷浩史 (欠席) 萩原光義 (欠席)

小吹 勇 (欠席) 大竹伸一 下川利澄 (欠席)

中嶋正昭 根本昌卓 (欠席) 大高宣靖 (欠席)

山川 洋 岡野良男

ゾーン・チェアパーソン

1R1Z 鈴木孝昌 1R2Z 内藤直人 (欠席) 1R3Z 遠藤 実 (欠席)

2R1Z 齋藤 修 2R2Z 加藤祐二 3R1Z 横瀬敬司

4R1Z 妹川真澄 4R2Z 森重英明 5R1Z 久保田信也

5R2Z 佐藤敬治 (欠席) 6R1Z 潮田新正 (欠席) 6R2Z 石井哲雄 (欠席)

7R1Z 二宮 司 7R2Z 片見幸男 (欠席)

1. 開 会

司会 (L 大貫研二) より、定刻に委員会が開会された。

2. 出席者紹介

司会より、出席者の紹介があった。

3. 委員長挨拶

委員長 (L 渡辺博) より当該委員会設置の経緯及び役割 (候補者資格要件の確認) に関する説明があった。

4. 議 事

委員長より議長を務める旨の発言があり、了承された。

a. 議事録作成人の指名

議長より、議事録作成人に 333-E 地区キャビネット幹事大貫研二が指名された。

b. 国際第 3 副会長候補者の 333-E 地区推薦までの手続きの確認

333-E 地区第 71 回年次大会代議員総会までのスケジュールを確認（別紙）

c. 立候補者紹介

議長より、元国際理事 L 川島正行から提出されたプロフィール、所信、土浦北ライオンズクラブの推薦状の読み上げがあった

d. 立候補者資格要件の確認

国際会則 付則 第 2 条により、L 川島正行の国際第 3 副会長立候補者としての資格を有していることが確認された。

e. 質疑応答

質問、意見は無かった。

5. 推薦決議の確認

渡辺博委員長より

- ・推薦委員会として立候補者の資格に問題がない事
- ・今後議事 b. で確認したスケジュールに従って手続きを進める事

以上 2 点の確認がなされた。

6. 閉 会

司会より委員会の閉会が宣言された。

議事録作成人 ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
キャビネット幹事 大貫研二

(2号議案) 333-E 地区リジョン・ゾーン編成検討委員会について

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

リジョン・ゾーン編成検討委員会設置 (案)

リジョン・ゾーン編成検討委員会の構成は、以下の通りとする

<委員長>

地区ガバナー 椎名 健二

<副委員長>

第1副地区ガバナー 若林 純也

第2副地区ガバナー 鈴木 光成

<顧問>

前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長 齊藤 正行

元地区ガバナー・地区名誉顧問 渡辺 博

元地区ガバナー・地区名誉顧問 岡野 良男

<委員>

キャビネット幹事 大貫 研二

キャビネット会計 岡田 浩一

1 R 1 Z ゾーン・チェアパーソン 鈴木 孝昌

1 R 2 Z ゾーン・チェアパーソン 内藤 直人

1 R 3 Z ゾーン・チェアパーソン 遠藤 実

2 R 1 Z ゾーン・チェアパーソン 齋藤 修

2 R 2 Z ゾーン・チェアパーソン 加藤 祐二

3 R 1 Z ゾーン・チェアパーソン 横瀬 敬司

4 R 1 Z ゾーン・チェアパーソン 妹川 真澄

4 R 2 Z ゾーン・チェアパーソン 森重 英明

5 R 1 Z ゾーン・チェアパーソン 久保田 信也

5 R 2 Z ゾーン・チェアパーソン 佐藤 敬治

6 R 1 Z ゾーン・チェアパーソン 潮田 新正

6 R 2 Z ゾーン・チェアパーソン 石井 哲雄

7 R 1 Z ゾーン・チェアパーソン 二宮 司

7 R 2 Z ゾーン・チェアパーソン 片見 幸男

キャビネット事務局長 瀬々 徹

任期は2025年6月30日までとする

(3号議案) 333-E 地区災害対応マニュアル(案)について

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 災害対応マニュアル(案)

はじめに

この災害対応マニュアルは、集中豪雨による土砂災害・浸水被害、そして地震等による災害を想定して作成しました。これまで長年に渡り大災害といわれるものは100年に1度といわれておりましたが、近年は東日本大震災をはじめとした大地震による災害や地球温暖化の影響とみられる豪雨災害が毎年のように各地で発生しております。

災害は忘れた頃にやってくるのではなく、自分の暮らす地域でも必ず発生するとの意識をもち、災害に対して常に備える必要があると考えます。

333-E 地区でも「地区緊急災害対策本部規則」並びに「運用マニュアル」により、災害発生時の行動規範が示されておりますが、より迅速に対応するためにこの「災害対応マニュアル」を作成しました。

このマニュアルが絵に描いた餅にさせないため、災害発生時に迅速に実践に移せるよう高い意識を持ち、定期的にシミュレーションしていくことが大切です。

また災害対応のあり方は、社会の状況や時代とともに変わってゆくことですので、このマニュアルも随時見直しを重ねることで、より充実したものへと進化させてゆきましよう。

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
2024-2025 年度 環境保全・マーケティング・PR・IT・アラート委員会

災害発生時の対応

災害発生時には次の内容を検討する必要があります。

1. 情報収集（災害場所の特定と状況の把握）
2. 連絡方法の確立
3. 支援の種類、方法の検討
4. 実際の支援
 - ・ 支援物品集積・配送・提供
 - ・ 人的支援
 - ・ 金銭的支援

1.情報収集

1-1 【被災クラブ】

- ① クラブ内の被害状況調査
 - ◆クラブ会員及び家族の安否 → キャビネット事務局へ報告
 - ◆クラブ会員の企業の被災状況の確認

- ② クラブ活動地域の被災状況調査
 - ◆地元自治体の災害担当部署および電話番号・担当者等の把握
(例)総務課等・社会福祉協議会、自治会 など
 - ◆避難所開設のある場合
 - 避難所の名称・住所・連絡先・担当者等の把握
 - 支援物品の調査・リスト作成、ゾーン・チェアパーソンへ報告
ゾーン・チェアパーソンはキャビネット事務局へ報告

1-2 【地区キャビネット】

災害規模把握と支援体制作り

地区ガバナーは直ちに地区緊急対策本部（以下、対策本部）を招集、情報の収集を行い、災害規模を次のレベル1・2・3に判別する。必要に応じて地区緊急災害支援センター（以下、支援センター）を設置する。

- レベル 1 = 災害発生地域が概ね一市町村内での災害
レベル 2 = 災害発生地域が概ね数市町村にまたがるとなる災害
レベル 3 = 災害発生地域がレベル 2 を超える広域に及ぶ災害

※但し、災害の範囲に加え被害の状況により災害レベルを最終的に決定する

災害レベル 1 の場合

- ① 被災者支援窓口は原則として、被災地域のライオンズクラブ内に設置する。クラブ事務局が被災した場合には、ゾーン・チェアパーソンの判断により代替となる被災者支援窓口を設置する。
- ② 責任者は、被災者支援窓口を設置したクラブの会長もしくはクラブが定めた担当者とする。
- ③ 所属リジョンのアラート委員は上記責任者、ゾーン・チェアパーソンと連絡を密にし、支援行動をとる。(対策本部への報告を含む)
- ④ 責任者は支援物品受け入れ場所(集積場所)の確保と必要な物品の情報発信を行う。
- ⑤ 被災者支援窓口を設置したクラブ又は責任者名義の支援金受入口座を開設し、迅速な告知を行う。(年度毎にキャビネット事務局へ収支報告を行う)
※原則としてキャビネット事務局では口座を開設しない。

災害レベル 2 の場合

- ① 被災者支援窓口は対策本部(支援センターが設置された場合は支援センター)とする。
- ② 被災地域のゾーン・チェアパーソンはゾーン内の被災状況を地元クラブから聞き取り調査し、キャビネット幹事に報告する。
- ③ 被災地域のゾーン・チェアパーソンが被災し、統括が困難な場合は近隣のゾーン・チェアパーソンが代理を務める。(対策本部が依頼)
- ④ 社会福祉協議会との連携により、被災状況やボランティアセンター開設情報を収集する。
- ⑤ 対策本部(または支援センター)は、LCIF 緊急援助交付金申請の有無を早急に判断し、必要と判断した時は直ちに申請を行う。(災害発生から 30 日以内)
- ⑥ キャビネット会計はキャビネット事務局名義の支援金口座を開設し、義援金の募集の迅速な告知を行う。
- ⑦ 支援金の支出は、対策本部(または支援センター)の承認を得なければならない。
- ⑧ 対策本部(または支援センター)の指示により地区アラート委員会は支援の役割を担う。

災害レベル3の場合

- ① 支援体制はレベル2以上と判断した場合を踏襲する。
- ② 対策本部（または支援センター）は333複合地区、（一社）日本ライオンズと調整を行い地区に反映する。

2. 連絡方法の確立

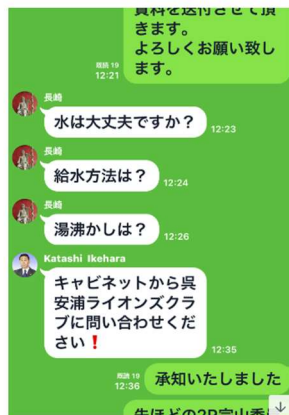
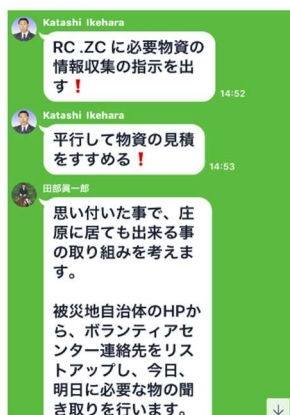
2-1 【情報伝達手順】

1. 活動地域において災害が発生したクラブはクラブ会長または幹事名にてゾーン・チェアパーソン → キャビネット幹事 → 地区ガバナーに状況報告ならびに連絡担当者等を伝達し必要な物品、応援等があればあわせて要請する。

※報告者本人が被災し連絡が困難な場合は、その方を割愛して次順位へ報告する。

- 災害発生時を想定し、年度当初に連絡網を構築しておく。
- ゾーン・チェアパーソンは所属リジョンのアラート委員、キャビネット副幹事、クラブ役員から構成する災害連絡体制を確立する。
- 地区キャビネット、ゾーン・チェアパーソン、地区アラート委員間で定期的なシミュレーション（訓練）が必要。
- 情報共有、一元化を図るために、LINE等の利用を検討する。

2-2 【LINEグループによる情報共有】



3. 支援・受援の種類・方法の検討

被災地の状況に応じた支援・受援の種類や方法の検討を行う。

3-1 支援物品の提供、受入

- ・被災地のニーズに対応した物品を提供
- ・会員企業の倉庫等を物品の保管庫として使用
- ・状況にあわせた受援物資の管理および精査

など

3-2 人的支援

- ・ボランティアの派遣（炊き出し、清掃片付け作業等）
- ・状況にあわせたボランティア受入体制の精査

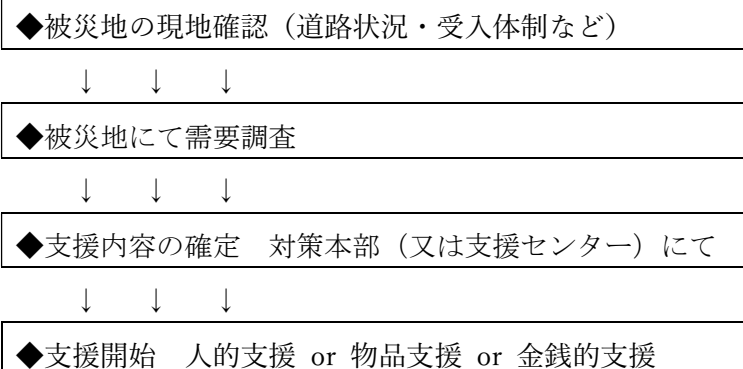
など

3-3 金銭的支援

- ・333-E 地区内クラブより会員数に応じた支援金の集金（地区キャビネット）
- ・地区内・地区外の個人・法人・ライオンズクラブから支援金受付
- ・ホームページやSNSを活用し、開設した支援金受付口座の迅速な周知。
- ・LCIF 交付金申請の検討

など

3-4 被災地支援のフローチャート



※現地に行く際の注意点・・・必ず「自己完結」の体制を整えること
（食事・宿泊・トイレを含め全ての事を準備）

4. 実際の支援・受援

4-1 支援物品提供

災害発生時、被災地で必要とされる支援物品は日々変化していくため、適切・迅速に支援を行うためには、最新情報を入手し、情報の共有を行う。

4-1-1 支援物品ニーズの把握（社会福祉協議会と連絡を密にして行う）

- ① 333-E 地区ホームページに災害対応ページを追加
- ② 必要物品名の把握（被災者支援窓口より報告）
 - ・ 必要物品名と数量をホームページに掲載（情報はできるだけ頻繁に更新）
 - ・ 数量が十分に確保されている物品提供は断る決断も必要
- ③ ライオンズクラブのネットワーク活用
 - ・ 地区内、地区外のクラブに対策本部を通して、支援の要請を行う

4-1-2 支援物品集積場所の確保

- ① 支援物品集積場所の設置（クラブ会員企業の倉庫が望ましい）

4-1-3 支援物品の調達・運搬・搬送

- ① 支援物品は支援物品集積場所で引き渡しが原則
- ② 輸送手段が無い場合は宅配業者の使用も検討

4-1-4 地区外からの支援物品受け入れ

- ① 原則として被災者支援窓口が連絡・受入を担当する
- ② 物資搬送車両が通過する道路事情の把握および現地案内

4-2 人的支援のあり方

4-2-1 被災地域のクラブが破滅状態の際

- ① 被災を免れた近隣クラブやゾーン(リジョン)で災害支援窓口を担う。
- ② 被災したクラブやメンバーに対する援助を実施し、少しでも早くそのクラブが地元での支援活動を再開できるようにする。（復興速度を速めるため）

4-2-2 被災地に対する支援例

- ① 食料・物資調達 (水・食品・衣服・日用品等の調達と配送等)
- ② 資機材調達 (ブルーシート・軍手・スコップ・土嚢・熊手・発電機等)
- ③ 運送・運搬 (軽自動車・トラック・小型バス等の運搬等)
- ④ ボランティア (ボランティアの配置・被災地での実働部隊)
- ⑤ 炊き出し (被災者・ボランティアへ現地での食事の手配等)
- ⑥ 被災地ケア (心と体のケア・・・癒しのマッサージ等)
- ⑦ 通訳 (日本語がわからない外国人への対応等)
- ⑧ ペット救助 (被災地に放置されたペットの保護等)

4-3 金銭的支援

4-3-1 支援金の募集と口座開設

- ① 災害レベルがレベル1の場合は、被災者支援窓口となったクラブが支援金口座を開設し、キャビネット事務局へ通知する。また、年度毎にキャビネット事務局へ収支報告を行う。
- ② 災害レベルが2及び3の場合は、キャビネット会計が支援金口座を開設、口座の情報をホームページに掲載し、半期毎に会計監査を受ける。
- ③ 支援金を支出する際には、被災者支援窓口の責任者の了解を得ること。

4-3-2 地区緊急援助資金

- ・333-E 地区では、1,000万円超の地区緊急援助資金を保有している。
- ・地区緊急援助資金の支出は地区緊急援助資金規則によって決定される。

4-3-3 LCIF災害援助交付金プログラムの活用

ライオンズクラブ国際財団では、災害援助交付金プログラムあり、2025年1月の時点では、①防災準備交付金、②緊急援助交付金、③大災害援助交付金の3種類の交付金が用意されている。

交付金には、申請時期・金額・用途などに決まりがあり申請手続きもやや煩雑なうえ、内容の見直しが行われる。

対策本部（または支援センター）は被害の状況を迅速に把握し、交付金申請の有無を判断しなければならない。

(配布)

本マニュアルを配布する際には必ず、次の1～3を同梱することとする

1. ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 地区緊急災害対策本部規則
2. ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 地区緊急災害対策本部規則 =運用マニュアル=
3. ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 地区緊急援助資金規則

(運用)

このマニュアルは、ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 2024-2025 年度 第3回キャビネット会議で決議され、333-E 地区内クラブ事務局へ配信を完了した時より運用を開始する。

(4号議案) 2025-2026年度会員種別の諸会費について

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

2025-2026年度

正会員・支部会員・特典会員（家族会員）・学生会員の諸会費（案）

		2024-2025年度				2025-2026年度				
		正会員	支部	特典会員	学生 *1	正会員	支部	特典会員	学生 *1	
国際協会費	*2	(年額)	\$48	\$48	\$24.0	\$24.0	\$50	\$50	\$25.0	\$25.0
		(月額)	\$4.00	\$4.00	\$2.00	\$2.00	\$4.17	\$4.17	\$2.09	\$2.09
		半期毎の請求	\$24.00	\$24.00	\$12.00	\$12.00	\$25.00	\$25.00	\$12.50	\$12.50
		入会金（初年度のみ）	\$35.00	\$35.00	\$35.00	\$0学生免除	\$35.00	\$35.00	\$35.00	\$0学生免除
複合地区運営費										
複合地区費	内 運営費充当分	(年額)	3,120	1,340	0	500	3,120	1,340	500	500
		(月額)	2,160	380	0	500	2,160	380	500	500
		半期毎の請求	180	-	0	-	180	-	0	-
	内 日本ライオンズ 賛助会費充当分	(年額)	960	960	0	0	960	960	0	0
		(月額)	80	80	0	0	80	80	0	0
		半期毎の請求	480	480	0	0	480	480	0	0
	複合地区大会費	(年額)	480	0	0	0	480	0	0	0
		(月額)	40	0	0	0	40	0	0	0
		半期毎の請求	240	0	0	0	240	0	0	0
	青少年育成資金	年額	500	0	0	0	500	0	0	0
国際理事候補者支援金	年額	100	0	0	0	100	0	0	0	
緊急援助資金負担金	年額	0	0	0	0	0	0	0	0	
地区費										
地区会費	(年額)	8,400	2,100	0	500	8,400	8,400	0	500	
	(月額)	700	175	0	0	700	700	0	0	
	半期毎の請求	4,200	1,050	0	0	4,200	4,200	0	0	
地区年次大会会費	(年額)	2,400	600	0	0	2,400	2,400	0	0	
	(月額)	200	50	0	0	200	200	0	0	
	半期毎の請求	1,200	300	0	0	1,200	1,200	0	0	
青少年育成資金	年額	0	0	0	0	0	0	0	0	
IT推進援助金	年額	0	0	0	0	0	0	0	0	
薬物乱用防止協力金	年額	300	150	0	0	200	200	0	0	
アイバンク協力金	年額	1,000	500	0	0	1,000	1,000	0	0	
333-E地区事業支援基金	年額	0	0	0	0	0	0	0	0	

*1 学生会員の定義は2022-23年度第3回キャビネット会議、ガバナー提出議案において説明

*2 途中月で入会は入会金と合わせ、入会月毎請求があります。

(注) 上位規則により変更になる場合があります。

地区ガバナー報告

- (1) 2024-2025 年度中間決算報告 (資料 p28～p35)

- (2) 茨城県教育庁が推進している職場体験への協力について (資料 p36～p49)

- (3) 次期キャビネット構成員・Z C・地区委員・クラブ三役研修会について
日 時：2025年5月31日(土)
場 所：ザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城県民文化センター)

- (4) 2025-2026 年度 333-E 地区「委員会名称」について資料 (p50)

- (5) キャンペーン 100 の再導入について (資料 p51～p52)

2024-2025 年度キャビネット会計中間決算報告及び監査報告

収支会計報告書・一般会計の部

2024年7月1日～2024年12月31日

収入の部 (単位:円)

	本年度予算額	実績	予算残高	備考
前年度繰越金	22,971,444	22,971,444	0	
地区会費	22,680,000	11,268,600	11,411,400	前期 2,683名
支部会員会費	273,000	138,600	134,400	前期 132名
日本ライオンズ会費	0	0	0	(旧日本ライオンズ事務所負担金)
登録料等	1,200,000	0	1,200,000	
雑収入	0	1,548	-1,548	
合計	47,124,444	34,380,192	12,744,252	

支出の部

	本年度予算	実績	予算残高	備考
ガバナー費	3,400,000	2,021,000	1,379,000	
会議費	2,000,000	676,906	1,323,094	
研修費	2,000,000	88,000	1,912,000	
旅費交通費	1,360,000	25,790	1,334,210	
贈呈費	3,650,000	2,515,330	1,134,670	
PR費	1,600,000	22,800	1,577,200	
委員会費	3,750,000	77,040	3,672,960	
人件費	7,300,000	2,816,482	4,483,518	
通信費	1,250,000	308,597	941,403	
印刷費	1,800,000	417,809	1,382,191	
貸借費	1,804,000	897,000	907,000	
事務所費	850,000	192,077	657,923	
慶弔費	1,000,000	146,370	853,630	
什器備品費	1,350,000	0	1,350,000	
備品リース費	800,000	181,752	618,248	
交際接待費	150,000	0	150,000	
広告宣伝費	250,000	0	250,000	
日本ライオンズ会費	0	0	0	
雑費	150,000	40,749	109,251	
予備費	12,660,444	5,486,000	7,174,444	OSEALフォーラム札幌支援金 @2,000x2,743名
合計	47,124,444	15,913,702	31,210,742	

収入金額 34,380,192
 支出金額 15,913,702
 残 金 18,466,490

預金通帳 18,454,197
 現金

収支会計報告書・青少年育成資金会計の部

2024年7月1日～2024年12月31日

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
前年度繰越金	4,826,811	4,826,811	0	
青少年育成資金	0	0	0	
薬物乱用防止講習会受講料	1,000,000	751,500	248,500	
雑収入	0	1,928	-1,928	
合計	5,826,811	5,580,239	246,572	

支出の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
レオ関係	レオ研修会費	200,000	15,000	185,000
	333複合レオ複合大会	30,000	0	30,000
	予備費	10,000	0	10,000
	レオ 小計	240,000	15,000	225,000
YCE関係	オリエンテーション費	100,000	0	100,000
	報告会費	100,000	0	100,000
	送迎費	100,000	0	100,000
	YCE交流会費	100,000	70,242	29,758
	YCE関係資料費	20,000	0	20,000
	YCE活動費	500,000	0	500,000
	緊急時準備金	200,000	0	200,000
	雑費	10,000	0	10,000
	予備費	50,000	0	50,000
YCE 小計	1,180,000	70,242	1,109,758	
薬物乱用防止関係	講習会食事費	40,000	0	40,000
	講師認定代	1,000,000	0	1,000,000
	会場費	250,000	0	250,000
	資料費	20,000	0	20,000
	通信費	20,000	0	20,000
	予備費	30,000	0	30,000
	薬物乱用防止 小計	1,360,000	0	1,360,000
ライオンズクエスト関係	1,450,000	0	1,450,000	
国際平和ポスターコンテスト	350,000	278,039	71,961	
(公社)茨城県青少年育成協会	300,000	300,000	0	
予備費	946,811	0	946,811	
雑費	0	4,400	-4,400	
合計	5,826,811	667,681	5,159,130	

収入金額 5,580,239
 支出金額 667,681
 残 金 4,912,558

収支会計報告書・IT推進援助金会計の部

2024年7月1日～2024年12月31日

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
前年度繰越金	1,526,052	1,526,052	0	
IT助成金収入	0	0	0	
雑収入	0	133	-133	
合計	1,526,052	1,526,185	-133	

支出の部

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
WEB製作・管理費・他	700,000	112,750	587,250	
講習会	0	0	0	
マンスリー集計システム	200,000	0	200,000	
PC会議システム	200,000	0	200,000	
予備費	426,052	0	426,052	
雑費	0	825	-825	
合計	1,526,052	113,575	1,412,477	

収 入 金 額 1,526,185

支 出 金 額 113,575

残 金 1,412,610

収支会計報告書・薬物乱用防止活動資金会計の部

2024年7月1日～2024年12月31日

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
前年度繰越金	399,089	399,089	0	
薬物乱用防止助成金収入	829,500	824,700	4,800	(正)2,683名x300円 (支部)132名x150円
雑収入	0	0	0	
合計	1,228,589	1,223,789	4,800	

支出の部

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
茨城県協議会助成金	500,000	0	500,000	
薬物乱用防止PR費	200,000	0	200,000	
予備費	528,589	0	528,589	
雑費	0	0	0	
合計	1,228,589	0	1,228,589	

収 入 金 額 1,223,789

支 出 金 額 0

残 金 1,223,789

収支会計報告書・アイバンク協力金会計の部

2024年7月1日～2024年12月31日

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
前年度繰越金	112,090	112,090	0	
茨城県アイバンク協力金	2,765,000	2,749,000	16,000	(正)2,683名x1,000円 (支部)132名x500円
雑収入	0	0	0	
合計	2,877,090	2,861,090	16,000	

支出の部

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
茨城県アイバンク協力金	2,765,000	2,749,000	16,000	
予備費	112,090	0	112,090	
雑費	0	0	0	
合計	2,877,090	2,749,000	128,090	

収 入 金 額	2,861,090
支 出 金 額	2,749,000
残 金	112,090

収支会計報告書・緊急援助資金会計の部

2024年7月1日～2024年12月31日

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
前年度繰越金	10,227,751	10,227,751	0	
雑収入	0	666	-666	
合計	10,227,751	10,228,417	-666	

支出の部

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
見舞金	0	0	0	
雑費	0	550	-550	
合計	0	550	-550	

収 入 金 額	10,228,417
支 出 金 額	550
残 金	10,227,867

収支会計報告書・地区事業支援基金会計の部

2024年7月1日～2024年12月31日

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
前年度繰越金	6,295,763	6,295,763	0	
事業活動費	0	0	0	
雑収入	0	415	-415	
合計	6,295,763	6,296,178	-415	

支出の部

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
事業活動費	1,000,000	0	1,000,000	
LCIF四大交付金へ	500,000	0	500,000	
予備費	4,795,763	0	4,795,763	
雑費	0	550	-550	
合計	6,295,763	550	6,295,213	

収入金額	6,296,178
支出金額	550
残金	6,295,628

収支会計報告書・LCIF四大交付金会計の部

2024年7月1日～2024年12月31日

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
前年度繰越金	3,467,379	3,467,379	0	
LCIF四大交付金	4,275,000	4,470,769	-195,769	US\$28,500
地区事業支援基金より	500,000	0	500,000	
青少年育成資金より	0	0	0	
雑収入	700,000	700,340	-340	特別拠出金(東海LC・鹿島LC・神栖LC・行方LC・茨城八千代LC・しもつまLC・茨城三和LC・常陸太田LC)利息
合計	8,942,379	8,638,488	303,891	

支出の部

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
ワークショップ ライオンズクエストセミナー	4,000,000	2,302,803	1,697,197	
予備費	4,942,379	0	4,942,379	
雑費	0	1,045	-1,045	
合計	8,942,379	2,303,848	6,638,531	

収入金額	8,638,488
支出金額	2,303,848
残金	6,334,640

収支会計報告書・地区年次大会会計の部

2024年7月1日～2024年12月31日

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
前年度繰越金	12,993,879	12,993,879	0	
地区大会費	6,558,000	3,259,200	3,298,800	(前期)2,683名×1,200円 132名×300円
大会登録費	1,500,000	0	1,500,000	
後夜祭登録費	3,600,000	0	3,600,000	
シェアリング交付金	0	0	0	
雑収入	0	1,041	-1,041	
合計	24,651,879	16,254,120	8,397,759	

支出の部

科目	本年度予算額	実績	予算残高	備考
人件費	2,000,000	722,662	1,277,338	
事務所費	200,000	28,788	171,212	
印刷費	1,000,000	0	1,000,000	
賃借費	1,000,000	0	1,000,000	
通信費	200,000	0	200,000	
会議費	500,000	0	500,000	
広告記録費	1,000,000	0	1,000,000	
アワード費	1,200,000	0	1,200,000	
総務費	50,000	0	50,000	
式典費	2,800,000	0	2,800,000	
食料費	1,000,000	0	1,000,000	
後夜祭費	3,600,000	0	3,600,000	
雑費	200,000	2,530	197,470	
アクティビティ費	500,000	0	500,000	
選挙関係費	500,000	0	500,000	
予備費	8,901,879	0	8,901,879	
合計	24,651,879	753,980	23,897,899	

収入金額	16,254,120
支出金額	753,980
残金	15,500,140

預金通帳	15,481,962
現金	18,178

貸借対照表




(2024年7月1日～2024年12月31日)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
一般会計(普通預金)	18,454,197	一般会計(普通預金)	18,454,197
一般会計(現金)	12,293	一般会計(現金)	12,293
小 計	18,466,490	小 計	18,466,490
青少年育成資金(普通預金)	4,912,558	青少年育成資金(普通預金)	4,912,558
小 計	4,912,558	小 計	4,912,558
IT推進援助資金(普通預金)	1,412,610	IT推進援助資金(普通預金)	1,412,610
小 計	1,412,610	小 計	1,412,610
薬物乱用防止活動資金(普通預金)	1,223,789	薬物乱用防止活動資金(普通預金)	1,223,789
小 計	1,223,789	小 計	1,223,789
アイバンク協力金(普通預金)	112,090	アイバンク協力金(普通預金)	112,090
小 計	112,090	小 計	112,090
緊急援助資金(普通預金)	10,227,867	緊急援助資金(普通預金)	10,227,867
小 計	10,227,867	小 計	10,227,867
地区事業支援基金(普通預金)	6,295,628	地区事業支援基金(普通預金)	6,295,628
小 計	6,295,628	小 計	6,295,628
LCIF四大交付金(普通預金)	6,334,640	LCIF四大交付金(普通預金)	6,334,640
小 計	6,334,640	小 計	6,334,640
地区年次大会(普通預金)	15,481,962	地区年次大会(普通預金)	15,481,962
年次大会(現金)	18,178	年次大会(現金)	18,178
小 計	15,500,140	小 計	15,500,140
合 計	64,485,812	合 計	64,485,812

*貸方 負債 0 円, 純資産 64,485,812円



上記のとおり 2024 年 7 月 1 日より 2024 年 12 月 31 日までの会計決算報告を
致します。

2025 年 / 月 23 日

地区ガバナー 権名 健二 
キャビネット幹事 大貫 研二 
キャビネット会計 岡田 浩一 

本日監査の結果、適正であることを認めます。

2025 年 / 月 23 日

会計監査委員 大和田 正俊 
会計監査委員 又米 雅文 

茨城県教育庁が推進している職場体験への協力について

ライオンズクラブ国際協会333-E地区と茨城県教育委員会との連携協定について

協定の趣旨

相互が連携協力し、小中学生の職場体験活動の充実と地域事業所への理解を深め、地域の発展につなげる。

協定の締結

・平成24年4月23日締結
333-E地区ガバナー 平田 石根
茨城県教育委員会教育長 小野寺 俊

ライオンズクラブ国際協会333-E地区
茨城県教育委員会

今後の方向性

協定に基づく連携協力のさらなる促進

- ・職場体験活動について、協力依頼方法を周知
- ・職場体験受入可能な加盟事業所を案内

対応策

「連携の手引き」（含事業所リスト）を作成することで、ライオンズクラブ加盟事業所への職場体験活動の協力依頼がスムーズになり、相互の連携協力が促進

連携協力体制について

ライオンズクラブ加盟事業所での職場体験等

学校の願い

- 多様な事業所の確保
- ・ 職業理解の促進
- ・ 地域事業所への理解
- ・ 将来への展望

連携の手引き(含事業所リスト)

依頼

許可

事業所の思い

- 職場体験等の受け入れ
- ・ 教育への貢献
- ・ 事業所の努力の公開
- ・ 地域の発展

ライオンズクラブ
国際協会333-E地区
との協定

小中学校職場体験活動等への連携事業所一覧作成へ向けて

ライオンズクラブ国際協会333-E地区
茨城県教育委員会

作成の目的

職場体験活動の受け入れが可能なライオンズクラブ加盟事業所の「連携事業所一覧」を作成することで、学校と事業所の連携協力体制の構築につなげる。

一覧作成までの流れ

2/15 地区代表会議

2月下旬～3月中旬

4月中旬

協定の確認及び職場体験活動等受け入れの可、不可を検討

事業所

ライオンズクラブ
国際協会333-E地区との協定

事業所がアンケートへ回答

県が事業者向けアンケートを作成

事業所の条件等も回答

学校への周知

県がアンケート結果をもとに一覧を作成

連携事業所一覧

ライオンズクラブ加盟事業所向け



小中学生の職場体験活動等における 連携の手引き



令和7年4月

ライオンズクラブ国際協会333-E地区
茨城県教育委員会

はじめに

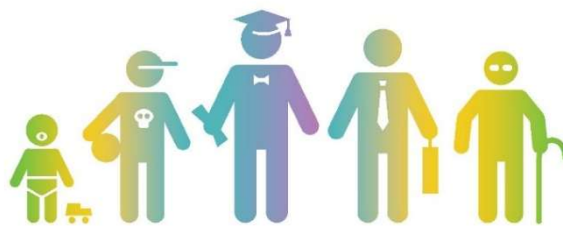
ライオンズクラブ国際協会333-E地区と茨城県教育委員会は、将来に夢と希望を持ち、活力に満ちた若者を育てるために連携協定を結び、さまざまな職場での社会体験等を推奨しています。

「働く大人」と接し、働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学び、一人一人の勤労観や職業観を育む職場見学、職場体験などの社会体験を行うためには、事業所からの支援、協力が欠かせません。

「小中学生の職場体験活動等における連携の手引き」は、事業所や団体が職場体験活動の受入れの際や講師として講話を依頼された際に、事前準備から当日、事後まで何をすべきか、何に気を付けるべきか等の事例をまとめたものです。

事業所と学校双方にとって、より効果的な職場体験活動・講師派遣の実施が図れるよう、本手引きをぜひ御活用ください。

ライオンズクラブ国際協会333-E地区
茨城県教育委員会



目次

1	職場体験活動について… P.1
2	実施方法 …… P.2
3	小学校（職場見学）…… P.3
4	中学校（職場体験）…… P.4
5	社会人講師派遣（講話など） P.5
6	書式（サンプル） …… P.8



1 職場体験活動について

職場体験活動が求められる背景

若者の進路選択や就業を取り巻く環境が大きく変化した平成10年前後、目的や進路の意識が希薄なまま進学する若者や、進路・職業の選択を先送りにする若者が急激に増えたということが社会問題となりました。

そのような背景を受け、一人一人の勤労観や職業観を育む職場体験活動が推進されました。早い時期からさまざまな職場での社会体験を通して、「働く大人」と接し、働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学ぶことで、活力に満ちた若者を育てる機会となります。

職場体験活動に期待されること

職場体験活動は、子供たちが直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感できる機会となることが期待されています。さらに、子供たちが主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことのできる教育活動として、重要な意味をもっています。

子供たちの望ましい勤労観、職業観や自己の将来に夢や希望を抱き、その実現を目指す意欲の高揚を図る教育活動として、職場体験活動の充実が期待されています。



2

実施方法

職場見学や職場体験活動の基本的な流れです。準備の内容は、校種により多少異なります。また、受入れ体制を整えることで、受入れがスムーズになります。

主な流れ

①事前

- ・ (児童生徒) 働くことの意義、職業内容の理解
- ・ (学校) 職場体験活動実施計画の作成、体験受入れ先の選定等

②準備

- ・ (事業所と学校) 受入れ側と学校側との基本事項の確認、「具体的なねらい」、「スケジュール」、「安全確保」、「緊急時対応」等
- ・ (事業所) 受入れ体制の整備

③実施

- ・ (事業所) 児童・生徒を受け入れ、活動を実施
- ・ オリエンテーション、緊急連絡体制の確認、活動実施の反省等

④事後

- ・ (事業所と学校) 職場体験活動の振り返り
- ・ (事業所) 報告会の参加
- ・ (学校) 報告会の実施・報告書作成

小中学生職場体験活動等における事業所側受入れ体制





児童



事業所

小学校(職場見学)

3

事前準備

- ① 学校から各事業所に職場見学の依頼の電話がある。
- ② 日程を確認し、承諾の可否について回答をする。(見学内容、人数、連絡先、学校担当者を確認)
- ③ 当日の日程表(学校作成)を基に、当日の流れの打合せを行う。
※学校より依頼書を受け取り、承諾書を渡す。
- ④ 事業所側の児童に見てほしいところ、学校が児童に学んでほしいところ等について、「意識」を合わせる。
※事前確認メモを活用



当日の日程(例)

時刻	実施項目
9:00	児童到着
9:15	児童によるあいさつ 日程確認
9:30	部署・現場担当者あいさつ 事業所説明等
10:00	施設内見学開始 ※従業員の立会いのもと 見学 ・業務説明 ・設備等の説明 ・業務の観察 ※トイレ、緊急時の対応 について児童へ知らせる。
11:40	・補足説明等 ・質問タイム
11:50	児童によるお礼の言葉
12:00	終了



3

生徒



事業所



中学校(職場体験)

4

事前準備

- ① 学校から各事業所に職場見学の依頼の電話がある。
- ② 日程を確認し、承諾の可否について回答をする。
(体験内容、人数、連絡先、学校担当者を確認)
- ③ 当日の日程表(学校作成)をもとに、当日の流れの打合せを行う。
※学校より依頼書を受け取り、承諾書を渡す。
- ④ 事業所で体験をする際の、服装、持ち物、注意点等の確認をする。
※事前確認メモを活用
- ⑤ 生徒からの依頼の電話では、持ち物などを伝える。



体験活動について(例)

日数	実施項目
1日目	事業所の業務説明、施設見学、施設周辺等の清掃、簡単な業務体験
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の流れ説明 ・業務体験 ・倉庫等の整理 ・接客、レジ打ち ※5日間の場合、段階的な業務の体験を計画する。
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の見学 ・生徒が思いを話す (業務への思いや、アイデアを伝える) ・社員とのコミュニケーションの取り方について学ぶ。 ・事業所の展望を聞く

※8:30~16:00を目安に活動計画を立てる。

※生徒は県が配付している「TRIAL HANDBOOK」に体験日誌を書く。



4

事業所の方

学校



社会人講師派遣（講話など）

5

※午後の場合の例

事前事後の流れ

- ① 学校から各事業所に職場見学の依頼の電話がある。
- ② 日程を確認し、承諾の可否について回答をする。
（学習テーマ、対象学年、学習時間、連絡先、学校担当者を確認）
- ③ 当日の日程表（学校作成）をもとに、当日の流れの打合せを行う。
※学校より依頼書を受け取り、承諾書を渡す。
- ④ 学校が児童・生徒に何を学んでほしいか、事業所は何を伝えたいか、「意識」を合わせる。準備してほしい設備等を伝える。
※事前確認メモを活用



当日の日程（例）

時刻	実施項目
13:00	講師到着
13:20	PC等の動作環境の確認や準備など
13:30	開会行事 講師紹介
13:40	講話（60分程度） ※体験やワークなどを行う場合は、90分程度
15:10	・補足説明等 ・質問タイム
15:20	閉会行事 児童・生徒によるお礼の言葉
15:30	終了

※配付資料などがある場合、実施日の1週間前までに学校へデータを送信し、資料を配付してもらう。




5

チェック項目①

事前準備について

- | | |
|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 学校側からの正式な依頼文 | <input type="checkbox"/> 事業所内での周知 |
| <input type="checkbox"/> 学校側との日程調整 | <input type="checkbox"/> 生徒の事前訪問・打合せの有無 |
| <input type="checkbox"/> 受入れ作業内容の検討 | <input type="checkbox"/> 生徒の交通手段（経路）確認 |
| <input type="checkbox"/> 受入体制、可能人数の検討 | <input type="checkbox"/> 学校側引率の体制 |
| <input type="checkbox"/> 事業所内受入れ体制の構築 | <input type="checkbox"/> 服装・名札等 |
| <input type="checkbox"/> 体験スケジュールの作成 | <input type="checkbox"/> 事前に確認したい注意点 |

受入れ当日・事後について

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 初日オリエンテーションの実施 | <input type="checkbox"/> 学校側への報告の要・不要 |
| <input type="checkbox"/> 出所・退所時のミーティング | <input type="checkbox"/> 事後報告会への参加について
（学校で計画される場合） |
| <input type="checkbox"/> 最終日の反省会の実施 | |



チェック項目②

安全面・コンプライアンスについて

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 緊急連絡体制（けが・病気等） | <input type="checkbox"/> 社員の言動等 |
| <input type="checkbox"/> 事業者や第三者への損害が発生した場合の対応 | <input type="checkbox"/> 社内掲示物 |
| <input type="checkbox"/> 学校での指導の確認 | <input type="checkbox"/> 生徒へコンプライアンスについての説明 |
| <input type="checkbox"/> 事業所における各職場に応じた安全指導 | <input type="checkbox"/> 受入れ生徒の情報管理（守秘） |
| <input type="checkbox"/> 生徒・自社に大きな損害を与える職場に従事させない等の配慮 | <input type="checkbox"/> 現場写真等の使用に関する注意の確認 |
| <input type="checkbox"/> 生徒側が加入している保険の確認 | <input type="checkbox"/> 児童・生徒に関する個人情報の廃棄 |



6

書式など(サンプル)

※ 茨城県教育委員会HP (以下アドレス) で、Word形式のデータを掲載しています。

様式1

学校名: _____ 学年: _____

姓: _____ 名: _____

(印名称) _____

令和2年度義務教育学校受入申込書

令和2年8月31日までに、お願したい内容に於いて下記のとおり記入をお願いします。

記

- 1 受入可能人数
- 2 受入可能期間
令和2年の8月 00 - 00日 (00 / 00 ※欄)
- 3 受入理由
- 4 受入理由等
- 5 連絡先等
- 6 その他

お問い合わせ先
 029-0000 0000 00 00
 TEL 000-000-0000
 FAX 000-000-0000
 E-mail

様式2

職場見学・体験事前確認メモ

令和 年 月 日

＜基本情報＞

学 校 名	
所 在 地	
施設番号	約文番号
学校担当者	Eメール
参加人数	学年・級

＜確認項目＞

受入可能日	
受入れ時間	
活動場所	
受入責任者	
活動担当者	
注意事項	
記念撮影等	

※欄に際すること

送迎時間	
送 迎	
持参物	
返却の品類	
その他	

様式3

学校名: _____ 学年: _____

姓: _____ 名: _____

(印名称) _____

令和2年度社会人職業体験書

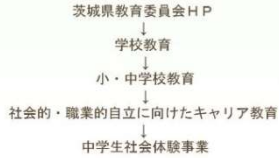
令和2年8月31日までに、お願したい内容を記入し、下記のとおり送付をお願いします。

記

- 1 実施日時
- 2 実施内容
- 3 感想、内容等
- 4 連絡先等
- 5 その他

お問い合わせ先
 029-0000 0000 00 00
 TEL 000-000-0000
 FAX 000-000-0000
 E-mail

職場体験活動について



<https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/gakko/compulsory-education/career/social-experience/>

● お問い合わせ先 ●

茨城県教育庁学校教育部義務教育課
 〒310-8588 水戸市笠原町978番6
 TEL 029-301-5226
 FAX 029-301-5239

企業（事業所）一覧

仮

事業所名	地区	住 所	連絡先	担当部署	受入れの条件等

【データ集約】茨城県教育委員会
↓
【各学校へ周知】各市町村教育委員会

※ 実施状況調査として、県が事業所へ向けて毎年2月にアンケートを実施する。登録状況に更新等があれば、アンケートにおいて記入する。

ライオンズクラブ国際協会333-E 地区加盟事業所における 小中学生職場体験活動等の受入れに関するアンケート

ライオンズクラブ333-E 地区と茨城県教育委員会の協定締結のもと、県内の小中学校の職場見学及び体験活動受入れ、社会人派遣にご協力をいただいております。

つきまして、学校向けに事業書一覧を作成し配付するため、事業の情報等についてアンケートのご協力をお願いいたします。

なお、3月14日（金）までにご回答いただけますと幸いです。

〔問合せ：茨城県教育委員会 義務教育課 野田 029-301-5226〕



☆ 基本情報								
1	事業所名							
2	貴事務所の所属を以下より選んでください。（○で囲む）							
	1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	分からない
3	貴事務所の所属クラブ名は何ですか。（例○ライオンズクラブ ※支部名があるなら支部名まで）							
4	本アンケートに回答いただいた方の氏名							
5	住所（郵便番号から記入）							
6	連絡先（電話番号、FAXなど）							
7	Eメールアドレス（ない場合、「なし」と記入してください。）							
Ⅰ 小中学校における職業に関する講話、職場見学・体験活動等の受入れについて								
①	小中学校の職業に関する学習や活動（講話、見学、体験活動）の受入れは可能ですか。（○で囲む）							
	可能である→Ⅱへ		どれも不可である→Ⅲへ					
Ⅱ 受け入れ可能な学習及び体験活動の内容について								
②	貴所で、児童生徒の学習に、ご協力いただけることは何ですか。（○で囲む、複数回答可）							
	A 職場体験学習	B 職場見学	C 職業に関する講話等	D その他				
③	②について、（A：どんな業務か）、（B：どんな見学が可能か）、（C：どんな内容なら講話が可能か）について、簡単に記入してください。							
	A							
	B							
	C							
Ⅲ 令和6年度（令和6年4月から令和7年3月まで）の状況について								
④	今年度、県内の小中学校の職場見学及び体験活動の受入れ、社会人派遣等にご協力いただきましたか。（○で囲む）							
	はい→Ⅳへ		いいえ→Ⅴへ					
Ⅳ 令和6年度の職場体験学習、見学、講話等、実施状況について								
⑤	どの活動にご協力いただきましたか。（○で囲む、複数回答可）							
	A 職場体験学習	B 職場見学	C 職業に関する講話等	その他				
⑥	⑤の協力について、どの活動に何校ぐらい協力しましたか。（回答例：A…中学校2校、B…中学校1校、小学校2校、C…なし）							
	<記述欄>							
Ⅴ 本事業の実施にあたって								
⑦	⑦ 御意見や条件等がございましたら、記入してください。（任意回答）							

2025-2026 年度 333-E 地区「委員会名称について」

2025-2026 年度「委員会名称」を以下の通り、予定しております。

各ゾーンにおかれまして「2025-2026 年度ゾーン内人事構成（地区委員選出）」に関しましては、以下の通り、各地区委員を擁立して頂きますよう、お願い申し上げます。

1	GLT リーダーシップ育成 委員会
2	GMT・GET（会員増強・リテンション・EXT・SCP・支部）委員会
3	WYPT（献血・視力・糖尿病予防・小児がん）委員会 ※ 旧 FWT
4	LCIF・国際大会 委員会
5	PR・IT・マーケティング 委員会
6	アラート・環境保全 委員会
7	ライオンズクエスト・薬物乱用防止 委員会
8	YCE・レオ・青少年育成・食料支援 委員会

※ライオンズクラブ国際協会、333 複合地区等の意向により委員会名称が修正される場合があります。修正された場合には随時通知させていただきます。

LCIF キャンペーン 100 の再導入について

いつも LCIF を通じたライオンズの奉仕へのご支援ありがとうございます。

さて、この度、LCIF 日本リーダーズは、キャンペーン 100 で 100%の会員による一人 100 ドル寄付の推進に大きく貢献した「100/100 クラブ」表彰を今期再導入することを決定いたしました。より多くのクラブにこの表彰の達成を目指していただくことで、一人 100 ドル寄付の文化を広める活動を推進し、今期、また来期以降の地区目標の達成にも貢献することを目指します。表彰の概要、及び手続き等について下記の通りご案内いたしますので、所属地区クラブへの伝達と参加にご協力をお願い申し上げます。

1. 100/100 クラブ表彰の概要

LCIF はライオンズ・インターナショナルの唯一の国際財団として、世界中の全てのメンバーに支援いただける財団を目指しています。キャンペーン 100 で大変多くのクラブにご賛同いただいた「100/100 クラブ」表彰を今期から日本独自のクラブ表彰の 1 つとして再導入し、より多くのクラブに表彰達成を目指していただくことで、一人 100 ドル寄付を推進いたします。本表彰の達成要件は、キャンペーン 100 期間中と同じく、正会員（家族会員の 1 人目）及び終身会員が全員一人 100 ドル以上の寄付を達成いただくこととしますが、判定については、キャンペーン 100 期間中とは異なり、達成をクラブにご申告いただき、その時点でのデータで確認することといたします。

尚、会員種別によって寄付の機会を制限する意図はございません。他の会員種別の皆様からの寄付も歓迎いたします。

2. 達成申告と表彰判定の手続きについて

達成は申告ベースとします。クラブが年度内に自ら選んだ時点で、上述の要件を満たすメンバーが全員一人 100 ドル寄付を行ったことを下記にご案内する申請フォームからご申告いただきます。申請を受理しましたら、オセアル調整事務局 LCIF 課はクラブの会員データ及び寄付記録を確認し、表彰の要件を満たしていることを確認いたします。従って、申請は通年で受付ます*。また、要件達成が確認された時点でその年のクラブの 100/100 クラブ達成を記録します。その後の会員変動が影響することはありません。

*ただし、表彰の機会は地区年次大会と年度末（来期の初め）の 2 回といたします。表彰スケジュールについては下記「3. 表彰スケジュールと期日について」をご確認ください。

100/100 クラブ申請フォームのリンク <https://form.jotform.com/243010114476444>

こちらよりご申請ください。

3. 表彰スケジュールと期日について

表彰は年2回とし、寄付及び申請の期日は下記の通りといたします。

【前期表彰】（地区年次大会での表彰を想定）

寄付は2024年12月末日まで。申請は2025年1月末日を期日とします。

【後期表彰】

寄付は年度末の2025年6月末日。申請は2025年7月末日を期日とします。

4. 表彰アイテムと発表について

表彰アイテムとして、表彰状とバナーパッチを贈呈いたします。

また、達成年度について報告するLCIF年次報告書に達成クラブ一覧を掲載いたします。

以上です。ご不明点、ご質問がございましたら、オセアル調整事務局 LCIF 課 LCIFTokyo@lionsclubs.org までご連絡いただきますようお願いいたします。

LCIF 理事 鶴嶋 浩二

LCIF 会則地域リーダー 鈴木 誓男

現況報告

ライオンズクラブ国際協会333-E地区
GLTリーダーシップ育成委員長 大本 雄一

まずは、日頃より 333-E 地区の皆様には深いご理解と、多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。また、過日開催いたしましたライオンズ EXPO 内において、新人セミナーへ 120 名を超える皆様にご参加を賜り、重ねてではありますが厚く御礼申しあげます。

我々、GLT リーダーシップ育成委員会では委員会名の通り、リーダーシップに関わる事業を展開しております。どの団体にもその団体独自のルールや理念を広め、取り組む施策があると思われま。当ライオンズクラブにも、もちろんそのルールや理念は明確にあり、その取り組みは時代と共に変化をするもの、変化しないものとしながら活動を続けています。ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体と言われる為には、会員が純増され、新しく入会してきたメンバーにおいては、明確といえないまでも志を持ち、そのメンバーに対しきちんとライオンズクラブの基礎知識を理解していただき、ライオンズの進む方向性を理解し、今後の羅針盤としていただければ当委員会としては幸いです。

今後は、さらなる変化を求める場として 333-E 地区の公認ガイディングライオンセミナーを 5 月 8 日に開催する運びとします。当日の運営方法等はこれからの委員会にて協議していきませんが、当日は今年度、次年度の ZC・クラブ 3 役並びに、役職に就かれる予定のメンバーを対象に、有意義なセミナーとしていきますので、各ゾーン・チェアパーソン並びに各地区委員の方々におかれましては、諮問会議等での周知をお願い致します。

以下に、当委員会の事業計画をしめさせていただきます。当委員会事業やキャビネット事業・ライオンズクラブの事業をご活用のごほどお願い申し上げます。

【委員会事業計画】

1. 公認ガイディングライオンセミナーの開催
2. ライオンズ学習センターの利用促進

PR・ライオンズ情報・IT・アラート委員会と共に随時案内

現 況 報 告

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
GMT コーディネーター 奈良 和彦

333-E 地区の皆様には日頃の活動に対し深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今期、GMT コーディネーターをお預かりしています 5R2Z 取手 LC 所属、L 奈良和彦です。

今年度、椎名ガバナーの必達目標は各ゾーンにおいて 5%の純増です。ZC の皆様へはあらためて各クラブの増強の状況を把握していただき共に純増の絵を描いていただけますよう宜しくお願いいたします。

[会員数]

2024 年 7 月～2025 年 1 月末 現在

正会員 2,880 名 特典会員 760 名

(2024 年 6 月末時点 正会員数 2,815 特典会員数 845 名)

転入 7 名・再入会 4 名・新入 170 名 転出 1 名・死亡 18 名・退会 182 名 減 20 名

[報告]

・2024 年 10 月 1 日、2 日 NASPA ニューオータニ

MD333 GAT セミナー

・2025 年 1 月 25 日、26 日 イーアスつくば

2024-2025 ライオンズ EXPO

相談ブースの設置、ミッション 1.5 セミナー

今期も残り少ない期間となりました。この時期だからこそそのお願いがあります。ここからの 4 か月間は次期との引継ぎもあり会員増強に対する意識が低下される時期です。しかし会員増強は永続的に行い続ける事により新たなメンバーとの出会いに繋がると確信しています。そして 6 月に予想される多くの退会者を防ぐ事に備えるのも増強の一つだと考えております。

リーダーの皆様には、この期間であらためてライオンズクラブへの熱い想いを継承していただきたいと思っております。

最後になりましたが私自身も最後まで引き締め委員会運営を行いますので皆様には更なるご指導ご鞭撻、ご理解とご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

We Serve

現 況 報 告

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
SCP・FWT 委員長 太田 敬

333-E 地区の皆様には、日頃の奉仕活動へのご尽力、また当委員会活動へのご理解とご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。今期もはや7か月が経過致しました。これまでの当委員会における事業報告と今後の事業計画をご説明させていただきます。

【事業報告】

1. ライオンズ EXPO

EXPO ではクラブ支部の活動報告、レモネードスタンドの活動報告とアクト開催受付を行い、多くのお問い合わせを頂きました。

2. レモネードスタンドの実施

地区委員各位から諮問委員会などで伝えさせて頂いていますレモネードスタンド・キッドを活用したアクトですが、クラブ様からお問い合わせを頂きまして、実績としては県内で8クラブの9アクトを1月末までに開催をいただきました。ありがとうございました。

3. 支部づくりについて

今期の目標として「1 リジョン 1 支部づくり」を目標に、この度 333MD・FWT コーディネーター古渡孝枝ライオンのお力添えもあり 4R1Z 土浦 SORALC から支部結成する運びとなりました。ありがとうございました。

【事業計画】

1. レモネードスタンド活動の推進

今期は県内各クラブから多くのお問合せをいただいています。レモネードスタンド活動の意味を多くの会員様へ周知していき、多くのアクト開催へと繋げていけるよう委員会として行動していきます。

2. 支部づくりについてのお手伝い

今期の目標に対して手応えをつかめておりません。支部づくりはクラブエクステンションへの第一歩という意識を前提として考えています。ご興味、ご意見、ご要請に応じて、お話し伺いたいです。お声がけ頂ければ幸いです。宜しく願い申し上げます。

引き続きご理解とご協力、またご指導を賜りますようお願い申し上げます。

現況報告

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
LCIF・国際大会委員長 山本 主税

日頃より当委員会の活動に関しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。今期も7ヶ月あまりが経過致し、年度の後半を迎えております。これまでの当委員会の事業報告と、今後の事業計画をご説明させていただきます。

1. LCIF について

ガバナー公式訪問、またメールを通じてお願いしてまいりました LCIF 寄付は、12月31日現在で、333-E 地区の目標額 50 万ドルに対して約 50%程度しか集まっておらず、目標達成にむけて非常に厳しい状況です。LCIF への寄付は世界中の障害を持つ人々、災害に被災した人々へ生きる希望を届ける素晴らし奉仕です。全てのライオンズクラブがメンバー1人 100 ドル以上のご寄付を、出来るだけ 2025 年 5 月までをお願いいたします。ご寄付いただく際は原則毎月 25 日を目安にお願いします。26 日以降月末までの間に報告及び送金がされた場合、当月中に処理ができず翌月扱いとなり、レートの変更が生じる可能性がありますのでご注意ください。

そして、ゾーン・チェアパーソンの皆様、地区委員の皆様、クラブ会長 の皆様からも是非ともクラブメンバーの全員にお声がけいただき、目標達成の為に力添えいただけますよう、強くお願い申し上げます。

2. 国際大会について

第 61 回 OSEAL フォーラムがタイ・パタヤにて開催され、多くのメンバーにご参加いただきましてありがとうございました。

333 複合地区「議長・ガバナーを囲む晩餐会」には 333-E 地区からは 59 名が登録、333 複合地区全体では 150 名の参加者があり、相互に絆を深めることができ大成功に終わりました。

また第 107 回国際大会開催地が、当初予定されていたメキシコシティ（メキシコ）からフロリダ州オーランド（アメリカ）へと変更になりました。多くご参加をお願いいたします。

[第 107 回国際大会（アメリカ・フロリダ州オーランド）]

- ① 開催期間 2025 年 7 月 13 日（日）～7 月 17 日（木）
- ② 公式行事会場 オレンジ・カウンティ・コンベンションセンター
- ③ 登録料 早期割／2025 年 3 月 1 日まで 190 ドル
普通料金／265 ドル、現地料金／340 ドル

現 況 報 告

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
環境保全・マーケティング・PR・IT・アラート委員会
委員長 寺田英俊

日ごろより茨城新聞掲載のライオンズサイトへの入稿、Lion Portal でのアクティビティ報告、当委員会よりのアンケート等、ご多用の中、ご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。年末に茨城新聞社との連絡ミスにより掲載スケジュールが 1 週間ずれてしまった事を深くお詫びします。今後は再発防止のために対策をいたしましたので、ご了承いただきたく宜しくお願い致します。また、ご協力頂きましたアンケートの集計結果をもとに、各クラブ様の直面している課題の解決等、引き続き必要とされるサポートをさせていただきますので宜しくお願い致します。

「環境保全」 ～環境保全：植樹・犬猫殺処分ゼロ運動・SDG's の推奨～

LCI が推奨する環境保全運動を各クラブ様へと情報共有し、引き続きクラブ支援に努めます。

「マーケティング」 ～アクティビティ・クラブ経営の問題解決成長型のサイクルの導入推奨～
ご協力いただきましたアンケートの集計結果を活用し、課題解決のためのサポートをいたします。また、引き続き奉仕組織としてのマーケティング手法や重要観点の情報提供等をしていきます。

「PR」～地区ニュースの発行、茨城新聞のライオンズサイト・各種 SNS の活用推進～
WEB 版「地区ニュース」の発行、ライオンズサイト掲載に伴う支援、SNS の活用推進を通し、奉仕活動が地域社会に効果的かつ高評価を得られるよう引き続き支援活動を致します。

「IT」～web ページ、Lion Portal、情報モラル・情報セキュリティーなどの活用推奨～
Lion Portal の活用、普及推進については 10 月に開催されたオセアル主催のウェビナーの録画動画を活用し更なる普及を目指していきます。また、今期末の次期三役研修会において ICT 研修として Lion Portal の活用、情報モラル・情報セキュリティー等を発信し、引き続き Lion Portal の活用を推奨していきます。

「アラート」～アラート発生時の対応、防災予防の伝播など～

日本ライオンズ主催の「全国アラートフォーラム 2025」の後方支援および参画、「地区緊急災害対策本部規則」改定への参画、その他アラート未発生時の「防災予防」の取組み例を通し、災害発生・未発生を問わず日常のアラート意識向上を推奨していきます。

【委員会活動計画】

全国アラートフォーラム 2025	2025/3/14(金)	13:00～	水戸市民会館
次年度向け ICT 研修会	<詳細検討中>		
(仮)			

その他) ライオンズサイト支援など継続的に行うもの、および、必要に応じてアンケートの協力依頼など



【委員会活動解説動画】

現況報告

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
献血・献眼推進・アイヘルス・糖尿病予防委員長 小島 修一

日頃よりライオンズクラブ国際協会333-E 地区の皆様には地区委員会の活動にご理解とご協力賜り心より感謝申し上げます。

献血・献眼推進・アイヘルス・糖尿病予防委員会の現在までの活動報告をさせていただきます。1月25・26日に開催されたライオンズ EXPO の2日目に、糖尿病予防セミナー、血糖値の測定、献血・献眼推進活動を行いました。糖尿病予防セミナーは真壁 LC メンバーの阿部田聡医師に講師をお願いしまして糖尿病についての知識と予防について講演をしていただきました。会場も満席となり、参加者の健康に関する意識の高さに気づかされました。また、L阿部田は環境保全・マーケティング・PR・IT・アラート委員でもあり、災害時における糖尿病を予防する食事方法についてもレクチャーいただきました。とても勉強となるセミナーになりました。そして、開催地であるつくば市保健部部長杉山様に行政の立場での健康推進活動のお話をいただき、今後、ライオンズクラブがどのように行政と関わり共に活動していけるか意見交換をさせていただきました。委員会ブースでは血糖値測定を行いました。血糖値の測定は真壁 LC 阿部田医師、土浦 SORALC 古渡看護師、つくば OAKLC クララ支部の看護師皆様のご協力をいただき開催させていただきました。とても盛況で50名近くの方に血糖値測定をしていただきました。その中には、とても高い数値が出たメンバーもいました。本人は自覚していなかったもので、高血糖は自覚症状が出ないのか思い改めて食生活等に気をつけないといけないと感じたしだいです。また、茨城県赤十字血液センター、並びに、(公財)茨城県アイバンク事務局より推進活動資料をいただき献血及び、献眼の推進活動と、現状報告を掲示させていただきました。

今期も残り4か月となりましたが、各クラブの皆様には、今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。

【献血活動について】

- ・2024年度 (7月～12月 現在) 献血採血量 合計：3,191,200 cc

【献眼登録・献眼について】

- ・2024年度 (4月～12月 現在)

献眼登録者合計：350名 / 献眼者合計：15名

現況報告

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長 石井 徹

1. ライオンズ EXPO (2025年1月26日 イーアスつくば イーアスホール)

ーライオンズクエストセミナー [13:00~14:00]

講師：つくば中央 LC バックキャスティング支部 L 稲葉一行

参加人数：59名

ライオンズクエストの成り立ち、活動の手順を説明し、現状の問題点を把握し、活動を広めるために何をすればよいのか、その方策、方向性について話があった。

ー薬物乱用防止活動のパネル展示、薬物標本の展示 [10:30~16:00]

薬物乱用の恐ろしさ、「ダメ、絶対!」を知ってもらった。

2. 薬物乱用防止教室開催実績 (11月~12月)

	回数合計	対象人数合計
1R	2回	303人
2R	13回	1,599人
3R	4回	425人
4R	13回	1,014人
5R	5回	676人
6R	7回	910人
7R	2回	87人
合計	46回	5,014人

3. ライオンズクエスト・ワークショップ開催実績

2025年1月7日 常陸太田 LC (常陸太田市内小・中学校 43名参加)

4. 今後の予定・

[薬物乱用防止教育認定講師養成講座]

日時：2025年2月19日(水) 13:00~16:30

場所：クラフトシビックホール土浦・小ホール

現 況 報 告

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
YCE・レオ・青少年育成委員長 武田 清宏

日頃より当委員会の活動にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。
今期も 333 複合地区と連携を図りながら、地区委員の皆様のお力をお借りして様々な活動をさせていただいておりますので現況の報告をさせていただきます。

1. YCE 関連事業

冬期派遣受け入れは 333 複合地区全体で当面行わない事となりました。
夏期派遣受け入れ共に 1~2 名を予定といたします。

2. レオ関連事業

333 複合地区レオ協議会及び交流会 2024 年 12 月 1 日 長岡大学（新潟）で開催。

3. 青少年健全育成関連事業

国際平和ポスターコンクールは、皆様のご協力のおかげで昨年の 1,650 作品から 2,022 作品と大きく増やす事が出来ました。11 月 10 日にはホテル日航つくばにて表彰式を開催させていただきました。E 地区代表作品は残念ながら 333 複合地区選考会にて次点となりました。

2025 年 1 月 26 日に開催されましたライオンズ EXPO でも展示ブースを開催いたしました。

来年度の作品数拡大までが本年度の成果と考え、引き続き協力をお願いを行ってまいります。

当委員会の事業は皆様のご協力がなくては成り立ちません。

今後も地区委員の皆様のお力をお借りして各クラブの皆様に様々な発信をさせていただきますので、各クラブ会長のリーダーシップのもと多くの皆様のご協力を頂き、未来を担う子供たちを結束と奉仕の力で育んで行きたいと思っておりますのでご理解ご協力をお願い申し上げます。

We Serve

現況報告

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
年次大会委員長 相澤 晴夫

2025年4月19日(土)牛久市生涯学習センター並びにホテル日航つくばで行われる第71回年次大会・後夜祭の開催に向けて、これまで2回の年次大会委員会を行いました。

第1回年次大会委員会 2024年11月11日(日)18:00～ 於 山水閣

第2回年次大会委員会 2025年1月29日(水)18:30～ 於 牛久市中央生涯学習センター

5リジョン内9クラブのクラブ会長、幹事の皆様にご出席いただき、地区ガバナーをはじめとするキャビネット役員に助言をいただきながら、準備を進めております。

大会テーマ 絆を未来へつなぐ

各クラブの役割は下図のように決定いたしました。

部会名	担当クラブ等	担当部会長	担当副幹事	備考
登録・受付部会	龍ヶ崎LC	L櫻井 隆	L大窪 聡史	パンフレット作成 登録案内・登録証・受付 (キャビネット事務局と連携)
式典・会場部会	牛久茎崎LC	L野口 雅也	L永井 雄一 L関川 恵一	進行スケジュール 会場設営・シナリオ作成 弁当の発注
後夜祭部会	取手LC 守谷LC	L染谷 武志 L松田 安弘	L大関 健一 L初沢 正人	シナリオ作成・座席表・席札 会場との打ち合わせ 当日の受付
交通案内部会	取手中央LC	L岩澤 信	L中村 和義	駐車場の確保 駐車場案内・誘導
記念品部会	江戸崎LC	L清原 秀樹	L石井 慎太郎	記念品の検討 記念品・アワードの袋詰め
記念誌・記録部会	竜ヶ崎 ききょうLC	L荒槇 純勝	L大野 啓史	記念誌の原稿校正
選挙部会	取手大利根LC 利根LC	L中村 正和 L矢口 浩一	L栗林 盛紀	選挙会場設営 選挙受付・立ち合い
ゴルフ部会	牛久茎崎LC	L野口 雅也	L長野 元樹	大会記念ゴルフ大会の設営・受付 表彰式の運営

今後の予定

第3回年次大会委員会 2025年3月24日(月)18:30～ 於 牛久市商工会館

多くの会員の皆様の登録を心よりお願い申し上げます。

2024-2025 年度 333-E 地区年間行事

2025.2.5 現在

年	月日	行事内容	場所
2024	7/7(日)	第1回 CAB 運営会議	オンライン
	7/21(日)	第1回 CAB 会議	ホテル日航つくば
	8/24(土)～10/5(土)	ガバナー公式訪問例会	
	11/2(土)	第2回 CAB 運営会議	オンライン
	11/10(日)	平和ポスターコンテスト表彰式	ホテル日航つくば
	11/14(木)～17(日)	OSEAL フォーラム (パタヤ)	タイ
	11/24(日)	第2回 CAB 会議	ホテルマロウド筑波
2025	1/25(土)・26(日)	ライオンズ EXPO	マロウド筑波・イーアスつくば
	2/2(日)	第3回 CAB 運営会議	オンライン
	2/15(土)	第3回 CAB 会議	ホテルテラスザガーデン水戸
	2/19(水)	薬物乱用防止教育認定講師養成講座	クラフトシビックホール土浦
	4/13(日)	第4回 CAB 運営会議	オンライン
	4/16(水)	第71回年次大会記念 LCIF チャリティーゴルフ大会	宍戸ヒルズカントリークラブ 東コース
	4/19(土)	地区年次大会&後夜祭	牛久市中央生涯学習センター/ホテル日航つくば
※1	4/22(火)	次期 第1回内局準備会議	未定
	4/26(土)	第4回 CAB 会議	ホテル日航つくば
	5/8(木)	公認ガイディングライオンセミナー	クラフトシビックホール土浦
※2	5/20(火)	委員会引継ぎ会議①	キャビネット事務局
※2	5/22(木)	委員会引継ぎ会議②	キャビネット事務局
	5/24(土)	複合地区年次大会前夜祭	ANA クラウンプラザホテル新潟
	5/25(日)	複合地区年次大会	新潟テルサ
	5/31(土)	次期キャビネット構成員・クラブ三役研修会	ザ・ヒロサワ・シティ会館
※1	6/17(火)	次期 第2回内局準備会議	未定
	7/13(日)～7/17(木)	フロリダ州オーランド国際大会	アメリカ合衆国

※1 対象者：次期キャビネット内局員予定者

※2 対象者：現 コーディネーター・委員長 次期 コーディネーター・委員長予定者

2024-2025 年度 クラブ周年行事予定表

開催予定日		R	Z	クラブ	周年数	開催場所
2024年	9月28日(土)	2	2	行方	10	鹿島セントラルホテル
2024年	11月9日(土)	2	1	水戸葵	60	ウエストヒルズ水戸
2025年	2月8日(土)	1	1	日立きらら	20	テラス ザ スクエア日立
2025年	2月22日(土)	1	2	ひたちなかベスト	30	ホテルクリスタルパレス
2025年	3月2日(日)	6	2	下館シニア	30	ホテルニューつたや
2025年	3月8日(土)	5	1	牛久茎崎	55	ホテル日航つくば
2025年	3月15日(土)	2	2	大洗	60	トヨペットスマイルホール大洗
2025年	4月12日(土)	1	2	勝田	60	ホテルクリスタルパレス
2025年	6月14日(土)	4	1	土浦	60	ホテルマロウド筑波